



**UNITED NATIONS
UNIVERSITY**

2006年3月22日
MR/J09/06

メディア用原稿
非公式記録

国際連合大学 広報部
〒150-8925
東京渋谷区神宮前5-53-70

Tel.: 03-3499-2811
Fax: 03-3499-2828
E-mail: media@unu.edu
Website: <http://www.unu.edu/>

第6回 EU-UNU 東京グローバルフォーラムのテーマは「貧困撲滅」

タイトル: 「支援活動の強化、効率化、および迅速化：貧困撲滅のためのグローバル・パートナーシップ」
日時: 2006年3月31日（金）9時30分～17時30分
場所: UNハウス3階 ウ・タント国際会議場（東京）
共催: 駐日欧州委員会代表部、国連大学本部（UNU）

ハイライト:

町村信孝前外務大臣、欧州委員会のヒュー・リチャードソン副総局長（欧州援助協力局）およびカレル・コヴァンダ副総局長（対外関係総局）、ボウナ・セマウ・ディオフ TICAD 部長が、国連大学と欧州委員会の共催による貧困撲滅をテーマとする会議において、講演を行う。

背景:

貧困は確実に広がっている。世界全体で約十億人、つまり人類の6分の1が、1日1ドル未満で生活するという貧しい生活を送っており、毎日十分な食事を取ることができない人は8億人以上、貧困による死亡者は年間800万人に上る。また、貧困はこうした驚くべき数字だけでは語りつくすことはできない。貧困のため、個人の潜在能力を発揮し、最も基本的な人権も享受することができない、生きる意欲をなくすような困難な状況に置かれ、それを克服できない人々が、子供を含め、多数に上っているのが現実である。

2000年9月に開催された国連ミレニアム・サミットに参加した189の加盟国は、採択した、国連ミレニアム宣言で、富裕国、貧困国の区別なく各国が貧困を撲滅し、人間の尊厳と平等を促進し、平和と民主主義、持続可能な環境を達成するために全力を尽くすことを公約した。

しかし時間は容赦なく過ぎ、1年経るごとに、「2015年までに1日1ドル未満で生活する人口比率を半減させる」という、国連ミレニアム開発目標（MDG）のターゲット1を達成できる見通しは低下している。これまでのところ、具体的な進展はあるものの（特にブラジル、中国、インド）、このままでは、ほとんどの途上国がこの基本的目標を達成できないだろうと思われる。さらに、目標達成に向けた進展が見られない国や、逆に状態が悪化している国さえあるという状態なのである。

今後10年間にこの貧困削減目標を達成するには、世界中のすべての国々が協力し、一層の努力を積み重ねていかねばならない。そういった中、先進国政府による支援、特に政府開発援助（ODA）という形での支援継続は非常に重要である。2004年の世界全体のODAは約790億ドルにのぼっているが、その中で、EUは最大の開発援助を提供している。また、日本は単独で全体の1割を越す援助を行っている。（援助額は89億米ドル。世界第二位のODA拠出国となっている）

第6回 EU-UNU 東京グローバルフォーラム「支援活動の強化、効率化、および迅速化：貧困撲滅のためのグローバル・パートナーシップ」では、こういったテーマを取り上げる。今回のフォーラムでは、政治家、著名な学者、欧州連合や日本政府の関係者、国連の実務者、ジャーナリスト、主要な非政府組織や民間団体の代表者が一堂に会し、開発と貧困に関するテーマについて、率直で前向きな話し合いをすることになっている。

イベント情報：

2006年 EU-UNU 東京グローバルフォーラム基調講演は、前外務大臣の町村信孝衆議院議員と、ヒュー・リチャードソン欧州委員会欧州援助協力局副総局長が行う予定。

基調講演に引き続き、「開発と貿易」「開発、民主主義および人権」「開発と安全保障」「開発と環境」というテーマで、セッションが行われる。スピーカーには、ボウナ・セマウ・ディオフ大使（国連開発計画アフリカ地域局アフリカ開発東京国際会議(TICAD)部長）、神余隆博氏（外務省国際社会協力部長）、長浜博行氏（衆議院議員）などを予定。

プログラムの全容はインターネット下記 URL にて、閲覧可能。
(http://www.unu.edu/hq/japanese/p&g-j/2006/programme06_j.pdf)
一般の方もご入場可（要事前登録）。
申込用紙など詳細については、下記参照。
<http://www.unu.edu/hq/japanese/p&g-j/2006/registration06.doc>

日英の同時通訳あり。本会議は国連大学ホームページ上でウェブキャスト予定。（過去のフォーラムも閲覧可能） <http://c3.unu.edu/videoportal/?83>（後日参照も可）

EU-UNU 東京グローバルフォーラムについて

EU-UNU 東京グローバルフォーラムは、2001年から駐日欧州委員会代表部と国連大学の共催により行われている。これらのフォーラムは、特に国連、欧州と日本に関係のある政治や社会の問題に焦点を当てて毎年開かれており、率直で前向きな話し合いを通じて国際協力や平和を強化していくことの重要性を主要テーマに掲げている。初年度の2001年は「人道的危機におけるパートナーシップ：紛争の予防・管理・解決—包括的アプローチに向けて」、以降2002年には「国境を越えるガバナンス：国、地域、世界」、2003年「危機にさらされている子どもたち：人間の安全保障に対する脅威と子どもの権利」、2004年「内乱から平和な社会へ：紛争後の復興・平和構築・和解」、2005年「民主社会の懸け橋：民主的プロセスにおける市民とNGOの役割」と、続いている。

お席のご用意をさせていただきますので、ご出席の場合は、お手数ですが、3月29日（水）までに、下記担当者までお知らせください。
国連大学広報部、担当：谷野（やの）（電話：03-5467-1311；メール：media@unu.edu）

